

# 栃 木 県 の 農 林 水 産 業 の 概 要

## 特徴・取組

栃木県は、北部から西部にかけて那須連山、帝釈（たいしゃく）山地、足尾（あしお）山地の山岳地帯があり、南部には関東平野が広がり、那珂（なか）川、鬼怒（きぬ）川、渡良瀬（わたらせ）川が流れ、水資源が豊富である。  
また、東京から60~160kmに位置し、東北縦貫自動車道や北関東自動車道、東北新幹線などの交通網も発達している。

全国有数のものづくり県として発展を遂げた本県の産業構造は、第2次産業、特に製造業の割合が高く35.3%と全国第7位。第2次産業就業者割合は30.7%で9位。  
豊かな農産物や豊富で良質な水に恵まれ、首都圏の食料供給基地としての役割を担い、栃木県では、食に関連する産業の振興を図ることにより、食をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる「フードバレーとちぎ」を目指す取組を推進している。

農業では、肥沃な農地と豊富な水資源、穏やかな気候に恵まれ、米麦、園芸作物、畜産など多彩な農畜産物が豊富である。  
林業では、豊富な森林資源を活用し、素材生産、しいたけ等の特用林産物が盛んである。  
水産業では、那珂川や鬼怒川などの内水面で、ます類やあゆを中心に漁業や養殖が盛んである。

栃木県は、大消費地に近く、平坦で広大な水田が広がり、野菜カット工場等の食品企業が多く立地する特徴を持つことから、首都圏への野菜や果実の食料供給を担う「園芸大国とちぎづくり」を推進している。  
いちごやトマトは高い技術力を有しており、今後、ICT等の新技術を取り入れることで収量や品質の更なる向上を目指している。  
また、新品種や新技術の導入等により、にらやアスパラガス、日本なしなどを主力品目として生産拡大を目指している。

## 主な農林水産物

### 米

ブランド米として知名度のあるコシヒカリ・なすひかり・とちぎの星を作付け。  
飼料用米の収穫量5.2万tは全国1位。



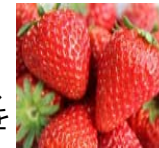
### 麦

二条大麦（ビール麦）を中心に小麦や六条大麦などの麦類を作付け。  
（二条大麦の収穫量全国2位）



### いちご

県育成のとちおとめやスカイベリーが栽培され、収穫量は半世紀以上日本一で、いちご王国プロモーションを展開。（収穫量全国1位）



### トマト

高軒高（こうのきだか）ハウスやICT等新技术を取り入れ多収量の周年栽培。（収穫量全国6位）



### にら

いちご、トマトに次ぐ産出額を誇る重要野菜。（収穫量全国2位）



### かんぴょう

県央・県南部の畑作地帯がゆうがおの主産地であり、国内生産量の9割以上を占める。（収穫量全国1位）



### そば

中山間地域における地域活性化の振興作物であり、近年は作付面積も増加傾向。（収穫量全国4位）



### 日本なし

幸水・豊水が主力品種だが、県育成のにっこりなどの晩生種の導入により、出荷期間が拡大し海外へも輸出。（収穫量全国3位）



### 乳用牛（生乳）

県北部を中心に北海道に次ぐ、5.2万頭を飼養、生乳の生産も盛ん。（飼養頭数全国2位）

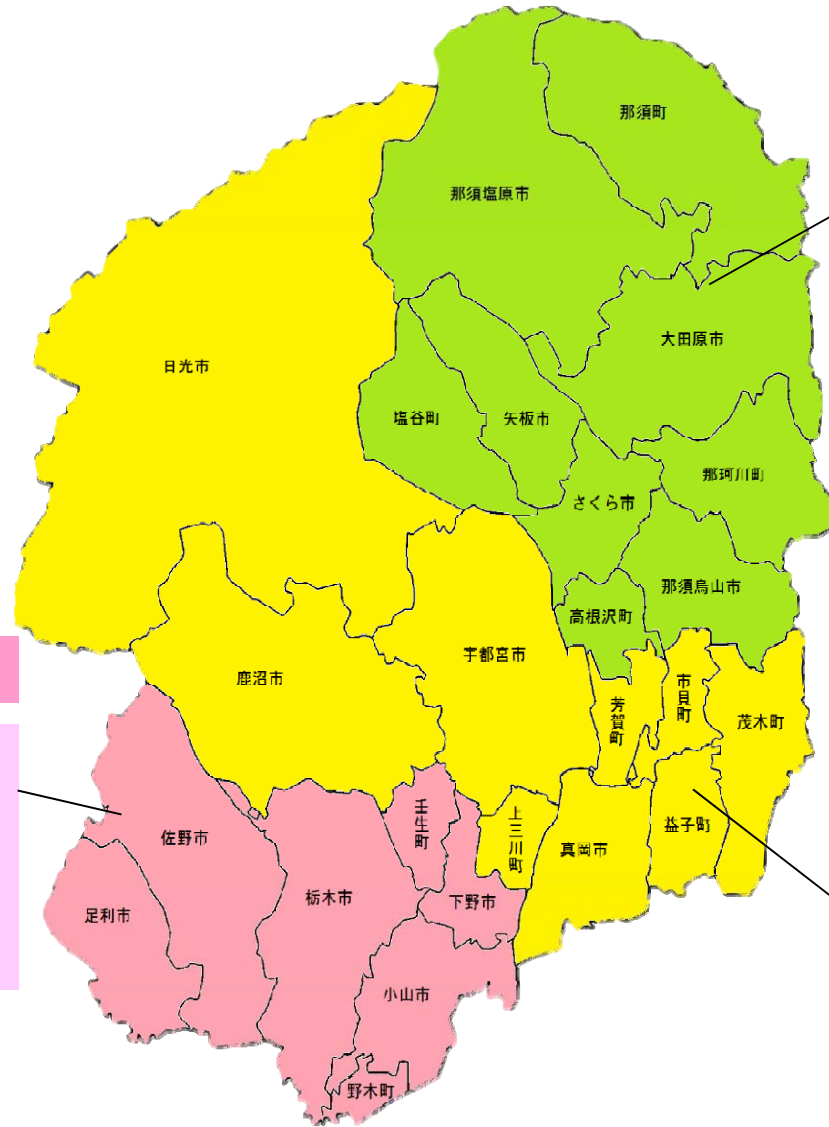


### 肉用牛

「とちぎ和牛」としてブランド化され、香港等に輸出。（飼養頭数全国7位）



# 栃木県における農林水産物の主な産地



## 県北地域

【農畜産物】水稲、二条大麦、小麦、いちご、にら、なす、トマト、ねぎ、うど、日本なし、スプレイぎく（切り花類）、乳用牛（生乳）、肉用牛、豚  
 【林産物】生しいたけ、まいたけ  
 【水産物】にじます、あゆ、ヤシオマス、温泉トラフグ、ホンモロコ

## 県南地域

【農畜産物】水稲、二条大麦、小麦、いちご、かんぴょう、なす、トマト、たまねぎ、はくさい、かき菜、アスパラガス、ぶどう、トルコギキョウ（切り花類）、肉用牛

## 県央地域

【農畜産物】水稲、二条大麦、小麦、いちご、六条大麦、らっかせい、にら、こんにやくいも、さといも、なす、トマト、たまねぎ、はくさい、日本なし、そば、えごま、シクラメン（鉢もの類）、スプレイぎく（切り花類）、鶏卵  
 【林産物】生しいたけ、まいたけ  
 【水産物】にじます、あゆ

出典： 「平成30年度栃木県農業白書」を基に作成

# 栃木県の農業（１）

- ・耕地面積は78%を占める田の9万6,100haを中心に12万2,600haであるが、荒廃農地の発生等により年々減少傾向。
- ・基幹的農業従事者数に対する65歳以上の割合は約6割を占め、高齢化が進む中で認定農業者数は8,148経営体と増加傾向。
- ・農業経営体のうち法人経営は448経営体と増加しており、担い手への農地集積率は52.3%。

## 耕地面積

区分	栃木県	全国	全国順位
耕地面積	122,600 ha	4,397,000 ha	10
田	96,100 ha	2,393,000 ha	7
畑	26,400 ha	2,004,000 ha	16
普通畑	21,700 ha	1,134,000 ha	15
樹園地	2,150 ha	273,100 ha	36
牧草地	2,570 ha	596,800 ha	12
参考) 総土地面積	640,809 ha	37,797,524 ha	20

出典：「令和元年耕地面積(7月15日現在)」、「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省 国土地理院)

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	栃木県	全国	全国順位
農業経営体数	40,473 経営体	1,377,266 経営体	10
法人経営	448 経営体	27,101 経営体	26
総農家数	55,446 戸	2,155,082 戸	16
販売農家	39,810 戸	1,329,591 戸	9
主業農家	8,883 戸	293,928 戸	11
参考) 世帯総数	763,097 世帯	53,448,685 世帯	19
集落営農数	240 集落営農	14,949 集落営農	27

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(平成31年2月1日現在)」

## 荒廃農地面積

区分	栃木県	全国	全国順位
荒廃農地面積	2,314 ha	279,970 ha	37

出典：「平成30年の都道府県別の荒廃農地面積」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	栃木県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	52,914 人	1,753,764 人	11
男	29,693 人	1,004,716 人	11
女	23,221 人	749,048 人	11
65歳以上	32,809 人	1,132,072 人	11
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	62.0 %	64.6 %	-
認定農業者数	8,148 経営体	239,043 経営体	8
法人数	424 法人	24,965 法人	25
参考) 総人口数	1,974,255 人	127,094,745 人	18

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(平成31年3月末現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)

## 担い手への農地の集積状況

区分	栃木県	全国	全国順位
担い手への集積面積	64,434 ha	2,485,707 ha	8
集積率	52.3 %	56.2 %	14

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(平成30年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。  
平成31年3月末の数値である。

令和2年3月1日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 栃木県の農業（2）

- ・農業産出額は2,871億円で、全国第9位。土地利用型農業（米、麦類、雑穀、豆類）が774億円、園芸作物（野菜、果実、花き）が963億円、畜産が1,095億円。
- ・農畜産物の生産状況は、いちごが全国第1位、生乳、乳用牛、にらが2位、日本なしが3位。
- ・農業者等による生産関連事業は、農産物直売所が600事業体で、年間販売金額は284億円。

## 農業産出額

区分	栃木県	全国	全国順位
農業産出額	2,871 億円	91,283 億円	9
米	714 億円	17,513 億円	9
麦類	43 億円	414 億円	2
雑穀	10 億円	94 億円	2
豆類	7 億円	637 億円	14
いも類	12 億円	1,976 億円	19
野菜	815 億円	23,212 億円	10
果実	80 億円	8,406 億円	26
花き	68 億円	3,327 億円	16
工芸農作物	6 億円	1,786 億円	28
その他作物	12 億円	715 億円	14
畜産	1,095 億円	32,589 億円	8
肉用牛	208 億円	7,416 億円	9
乳用牛	416 億円	9,339 億円	2
生乳	350 億円	7,473 億円	2
豚	257 億円	6,104 億円	8
鶏	211 億円	8,999 億円	15
鶏卵	191 億円	4,848 億円	8
その他畜産物	2 億円	731 億円	26
加工農産物	10 億円	615 億円	13

出典：「平成30年生産農業所得統計」

- 注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。  
 2 「麦類」「その他作物」の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農畜産物の生産状況

区分	年次	栃木県	全国	全国順位
いちご	収穫量	H30 24,900 t	161,800 t	1
生乳	生産量	H30 330,600 t	7,289,227 t	2
乳用牛	飼養頭数	H31 51,900 頭	1,332,000 頭	2
にら	収穫量	H30 10,600 t	58,500 t	2
日本なし	収穫量	H30 20,400 t	231,800 t	3
トマト	収穫量	H30 36,000 t	724,200 t	6
たまねぎ	収穫量	H30 12,000 t	1,155,000 t	6
豚	飼養頭数	H31 406,000 頭	9,156,000 頭	7
肉用牛	飼養頭数	H31 79,600 頭	2,503,000 頭	7
水稻	収穫量	元 311,400 t	7,762,000 t	8

出典：「作物統計」、「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」

## 農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	栃木県	全国	全国順位	
農産物の加工	総額	21,813 百万円	941,262 百万円	14
	事業体数	590 事業体	27,920 事業体	17
農産物直売所	総額	28,427 百万円	1,079,020 百万円	13
	事業体数	600 事業体	23,940 事業体	16
観光農園	総額	1,493 百万円	40,159 百万円	11
	経営体数	220 経営体	6,590 経営体	11
農家民宿	総額	45 百万円	5,734 百万円	25
	経営体数	20 経営体	2,040 経営体	23
農家レストラン	総額	895 百万円	38,260 百万円	15
	事業体数	30 事業体	1,560 事業体	16

出典：「平成29年度6次産業化総合調査」

- 注：「農家民宿」及び「農家レストラン」の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和2年3月1日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 栃木県の林業

- ・ 林野面積は約34万haで県土の53%を占め、国有林が約12万ha、民有林が約22万haで、林業産出額のうち木材生産は67億4,000万円。
- ・ 林産物の生産状況は、まいたけ、生しいたけ、乾しいたけが中心で、林業産出額のうち栽培きのこ類生産が39億3,000万円。
- ・ 製材工場は115工場。

## 林野面積

区分	栃木県	全国	全国順位
林野面積	341,343 ha	24,802,277 ha	28
国有林	118,757 ha	7,175,516 ha	15
民有林	222,586 ha	17,626,761 ha	33
人工林面積	155,946 ha	10,203,842 ha	28

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」「森林資源の現況」(平成29年3月31日現在)

## 林業経営体数

区分	栃木県	全国	全国順位
林業経営体数	2,204 経営体	87,284 経営体	14
法人経営	67 経営体	5,599 経営体	34

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」

## 林業産出額

区分	栃木県	全国	全国順位
林業産出額	107.1 億円	4,628.5 億円	12
木材生産	67.4 億円	2,278.7 億円	10
栽培きのこ類生産	39.3 億円	2,256.6 億円	15

出典：「平成30年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

## 林産物の生産状況

区分	栃木県	全国	全国順位
素材生産量	577 千m <sup>3</sup>	21,640 千m <sup>3</sup>	11
針葉樹	535 千m <sup>3</sup>	19,462 千m <sup>3</sup>	11
ひのき	149 千m <sup>3</sup>	2,771 千m <sup>3</sup>	8
すぎ	376 千m <sup>3</sup>	12,532 千m <sup>3</sup>	10
広葉樹	42 千m <sup>3</sup>	2,178 千m <sup>3</sup>	12
まいたけ	生産量 346 t	49,687 t	6
生しいたけ	生産量 3,058 t	69,804 t	7
木炭	生産量 176 t	8,742 t	8
ひらたけ	生産量 41 t	4,001 t	9
乾しいたけ	生産量 28 t	2,635 t	10

出典：「平成30年木材統計」、「平成30年特用林産基礎資料」

注：「まいたけ」、「木炭」及び「ひらたけ」の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 製材工場数

区分	栃木県	全国	全国順位
工場数	115 工場	4,582 工場	14
製材用素材の入荷があった工場数	115 工場	4,551 工場	14
国産材のみ	105 工場	3,521 工場	13
国産材と輸入材	4 工場	792 工場	41

出典：「平成30年木材統計」

令和2年3月1日時点における最新の統計等の公表データを使用



# 栃 木 県 の 漁 業

- ・水産物の生産状況は、内水面漁業であゆが全国第3位、内水面養殖業でにじますが4位。  
このほか、生産量は少ないが、ヤシオマスや温泉トラフグ、ホンモロコが県内の特産品となっている。

## 漁業経営体数

区 分	栃 木 県	全 国	全国順位
内水面漁業経営体数	79 経営体	4,772 経営体	16

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

区 分	栃 木 県	全 国	全国順位
内水面漁業・養殖業生産量	1,044 t	56,806 t	12
内水面漁業漁獲量	296 t	26,957 t	11
あゆ	289 t	2,140 t	3
内水面養殖業収穫量	748 t	29,849 t	11
にじます	275 t	4,732 t	4

出典：「平成30年漁業・養殖業生産統計」

注：1 順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

2 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

## 半世紀以上日本一のいちご王国栃木

栃木県のいちごは、1968年から収穫量日本一の座をずっと保ち続けている”いちご王国“です。日本のいちごの本来の旬は、春(5～6月)ですが、栃木県では、様々な技術を駆使して、古くから出荷の前進化に取組み、今では11～5月まで高品質で美味しいいちごを安定的に出荷できるようになり、大消費地である首都圏を中心に出荷しています。これは、生産者、農業団体、行政が一丸となって、生産、流通、販売の改善に向けた取組を重ねてきた成果です。

更に、近年では6～10月まで出荷する夏秋どりいちごの生産も始まり、一年を通じていちごが楽しめるようになってきています。

「いちご王国」は、そこで暮らす人々、そこへ訪れる人々全てが、いちごで繋がる幸せの連鎖と生まれる笑顔が源泉となり繁栄してきました。

いちご王国はこれからも一人ひとりの「笑顔つながる」王国として、さらなる繁栄を続けていきます。



このマークは、王国をイメージする旗をイメージとしています。"ご"の文字を飾る笑顔は「いちご王国」で暮らす全ての人々が、いちごでつながる幸せの連鎖で繁栄してきたことを示しています。

また、黄金の”王国”の文字は、半世紀以上日本一の栄光と、栃木のいちごのブランド力を示しています。



## いちごの王国の“いちごたち”



スカイベリー

大粒できれいな色と形。すっきり甘く、ジューシーなおいしさ。自分へのごほうびや、大切な人への贈りものにぴったりな“ハレの日”いちごです。

栽培時期  
11月～6月



とちおとめ

味が濃く、果汁たっぷりな味わいが身上。甘みと酸味のバランスがとれた果肉は、冬の関東平野に降り注ぐ、太陽の恵みそのものです。

栽培時期  
10月～6月



とちひめ

栃木県内の観光いちご園でのみ食べることができる幻のいちご。皮がやわらかく、大粒で中まで赤く、ジューシーで甘みが強いいちごです。

栽培時期  
12月～5月



なつおとめ

夏場に収穫できるいちごで、酸味が強く、夏のゼラートなどスイーツに最適。縦に切ると中心が赤いハート型になるのが特徴です。

栽培時期  
7月～10月